

平成20年11月17日

西日本旅客鉄道株式会社
京阪電気鉄道株式会社

秋の行楽シーズンに向けて京都観光促進に更なる連携強化

東福寺ルート確立への取り組みを今年も実施します

西日本旅客鉄道株式会社（本社：大阪市北区、社長：山崎正夫）と京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、社長：上田成之助）は、秋の紅葉シーズンがピークを迎える11月22日（土）～24日（月・振休）の3連休を前に、観光旅客が電車で快適に行楽地へ向かえるよう、連携を強化します。

京都は、年間約5,000万人もの観光客が訪れる国際観光都市です。中でも紅葉シーズンは入洛客数がピークとなり、近年では、自家用車に加え、JR京都駅から発着するバスやタクシーなどにより、京都市内は極度の交通渋滞と排気ガスによる環境問題が深刻化しています。そこで、昨年両社では、駅の表示やパンフレット等のお互いの路線表記を充実させることなどによる東福寺駅を経由した鉄道の乗り継ぎの観光輸送キャンペーンを実施し、大きな成果をあげました。さらに今年は、よりスムーズにご利用いただけるように、比較的ホームの幅員が広い京阪の東福寺駅ホームを約34㎡JR西日本に賃貸し、JRのホームを拡幅いたしました。本年10月29日（水）に竣工し、現在使用を開始しています。これにより、お客さまに、より快適に目的地へ向かっていただくことが可能になりました。

さらに、両社では神戸方面から祇園・清水を中心とした東山エリアや嵐山エリアにお越しになるお客さまに便利でお得な「京都もみじっぷ」を企画し、11月15日（土）よりご利用を開始しました。同チケットはJR東海道線立花駅（兵庫県尼崎市）～神戸駅（神戸市）間からJR京都自由周遊区間に加え京都駅経由東福寺で京阪線の出町柳駅～伏見稻荷駅間の乗り降りが自由になるものです。

今後両社では、遠距離旅客の玄関口であるJR京都駅から東福寺駅を経由して祇園・清水といった観光スポットが徒歩圏にある京阪線の各駅に至る「東福寺ルート」を京都観光のメインルートとして確立する取り組みを実施していきます。

東福寺駅のホーム改造工事並びに「京都もみじっぷ」の概要は別紙のとおりです。

(別紙)

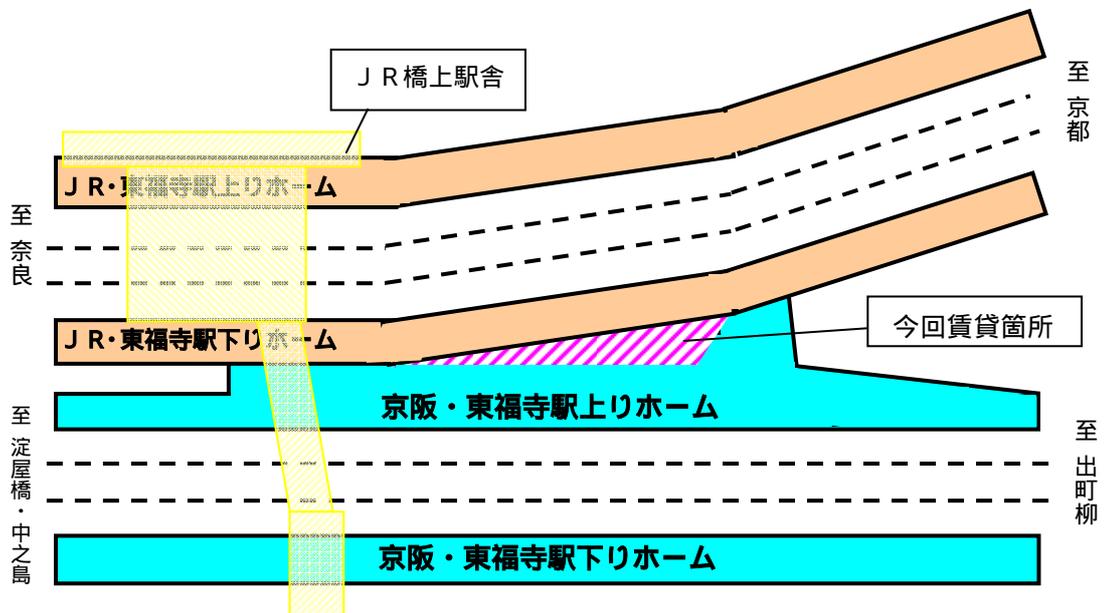
1. JR東福寺駅ホーム拡張

内容：京阪本線上り（出町柳方面行）ホームの土地を、一部JR奈良線下り（奈良方面行）ホームに提供

賃貸面積：約34㎡

期間：当面平成21年5月6日（水）まで。その後は別途協議。

位置図



図はイメージ



(拡張前)



(拡張後)

JR東福寺駅下りホーム

2. 京都もみじきっぷ

利用期間：平成20年11月15日(土)～12月14日(日)

発売は12月11日(木)まで

有効期間：利用日当日(発売時に指定、券面記載)

発 駅：JR東海道線立花駅～神戸駅間の各駅

有効区間：JR発駅～JR西大路駅〔往復〕

JR 西大路駅～山科駅、宇治駅～保津峡駅間〔乗り降り自由〕

京阪 出町柳駅～伏見稻荷駅間〔乗り降り自由〕

金 額：立花駅～さくら夙川駅が発駅の場合 1,500円

芦屋駅～神戸駅が発駅の場合 1,800円

大人1名の場合。小人は半額。

以 上